



手から心へ 未来へつなぐお手玉

# おてだま

OTEDAMA CLUB IN JAPAN

NO.

# 38

2019年12月

## 新居浜高専と浮島小が2連覇!!

### お手玉遊び市民大会(新居浜)



令和元年お手玉遊び市民大会 小学生の部・団体戦の熱戦(新居浜)

## 和歌山のお手玉の会 第9回お手玉遊び交流会



お手玉交流会で頑張る保育園児(和歌山)

## 尾道お手玉フレンド 第15回尾道お手玉遊び大会



華やかなお手玉演舞(尾道)

## 東京・おてだま 童謡101年未来に向けて



童謡を歌いながらみんなでお手玉(東京)

ヨ一ヨ一お手玉ダンスも登場

1,000人が参加し賑わう

お手玉の里、新居浜でお手玉遊び大会

### 【各支部の活動状況】

●東京支部

「童謡101年未来に向けて」で、お手玉披露

●和歌山支部

お手玉交流会に保育園児や6支部が参加

●熊本支部

「子どもから大人へ」自立と共育を考える

●八王子支部

子どもが作る《わたしのコモリウタ》に参加

●長野支部

下伊那農業高校の生徒さんにお手玉遊び指導

●福岡支部

山口市のお手玉講習会に招かれ福岡から参加

●京都支部

新春お手玉あそびイオン京都五条に参加

●尾道支部

第15回尾道お手玉遊び大会に120人が参加

●新居浜高専と新居浜支部

新居浜で今年も夏休みにお手玉教室開く

●日本のお手玉の会本部

銀行で「お手玉遊び」の活動展を開催する

「はやぶさ2」でも「お手玉」が

「リョウグツ」の探查成功の陰に

「日本のお手玉の会ホームページ」の企画紹介

特別 お手玉は脳にとつて

寄稿 良いのか否か!?

脳科学者 森 昭雄 顧問

北村義雄ヤップ通信

日本のお手玉の会北村義雄副会長

写真絵本「お手玉」が令和2年1月25刷りに

お手玉の人気を反映

2社がお手玉の本を出版

金の星社と小峰書店が

# ヨーヨーお手玉ダンスも登場

## 1,000人が参加し賑わう

### 「お手玉の里」新居浜で「お手玉遊び大会」

日本のお手玉の会の本部がある「お手玉の里」新居浜市で、令和元年10月27日(日)、お手玉遊び市民大会を開きました。小学生の部と一般の部の団体戦に加えて、新しいプログラム「お手玉ダンスパフォーマンス」が登場し、市外、県外を含め1,000人の参加で賑わいました。

大会は、合唱団ハモルネアによる「新居浜市歌」と、宮中雲子会長の作詩、小泉珠子理事の作曲による「お手玉しましよ」の合唱で幕を開けました。



ヨーヨーお手玉ダンスで頑張る男性チーム

開会式で、主催者の石川勝行市長から、次のような挨拶がありました。「全国各地からご参加のみなさんを歓迎します。新居浜市に本部を置く日本のお手玉の会が誕生して四半世紀が過ぎ、お手玉の魅力が日本中に広げられました。この大会で笑顔で交流されまますとともに、お互いの絆が深まることを期待しています。」

つづいて、中村時広愛媛県知事の祝辞(代読)が紹介されました。

大会長の日本のお手玉の会の宮中雲子会長をはじめ、県議、市議が出席しました。

開会式の最後に、東京・おてだまの小泉珠子理事(日本のお手玉の会理事)が、「東京五輪に向けてお手玉の魅力を外に紹介するため、来年5月に東京でお手玉の会を開催します。ぜひ、ご参加ください」と呼びかけました。

#### 小学生と一般ともに連覇

競技大会の団体戦は、小学生の部と一般の部が行われました。小学生の部に18チームが参加し、昨年優勝の浮島小学校が連覇しました。一般の部に県外の8チームを含む13チーム

が参加し、昨年度に続いて新居浜高専チームが優勝しました。今年初めてのプログラムとして、お手玉ダンスパフォーマンスが行われ、市外からのチームを含め、7チームが参加しました。

#### 男性チームが最優秀賞に

どのチームも軽快な音楽と、曲に似合った振り付けと衣装に趣向を凝らし、演技も見応えのある内容で盛り上がりました。

いずれの演技も、会場を埋めた観衆の笑顔を誘い、それぞれのパフォーマンスに、大きな拍手が送られました。結局、大きな蝶ネクタイに白のカッターシャツ、黒のサスペンダー、黒ズボンというスタイルの男性チームが、会場から大きな拍手を得て、最優秀賞にあたる「ギャラリー賞」を獲得しました。



団体戦一般の部で優勝した高専チーム

# 各支部で多彩な行事を展開

## 東京支部

東京・おてだま

### 「童謡二〇一年未来に向けて」で「お手玉披露」

東京・おてだま(尾崎杏子理事長)は、令和元年8月17日(土)、成城ホールでの「童謡二〇一年 未来に向けて」踊ろう!唄おう!コンサートに参加しました。

「アンパンマン」のお手玉演舞や、「うさぎとかめ」のヨーヨーお手玉ダンスを披露。ヨーヨーお手玉は、会場のみなさんも体験しました。これら



童謡を歌いながらのお手玉パフォーマンス

は、小泉珠子同会理事のリードですめられました。

また、日本のお手玉の会の小田原充宏師範代が、3個、4個のお手玉を操り、5個、6個のボールでの見事なパフォーマンスを演じました。

ここで舞台の照明が落とされ、会員のみなさんが「ほたるこい」を歌いながら蛍光塗料を塗ったお手玉をゆりながら登場しました。

舞台は、蛍が舞う幻想的な森の状況に変わり、会場から大きなため息が聞かれました。

最後は、会員が色とりどりの衣装で「森の小人」を歌い、元氣よくお手玉をゆりながら登場し、パフォーマンスは終了しました。

## 和歌山支部

和歌山のお手玉の会

### お手玉交流会に保育園児や6支部が参加

和歌山のお手玉の会(森勝代会長)は、第9回お手玉遊び交流会とどけようお手玉のぬくもりを、令和元年11月16日(土)、河北コミュニティセンターで開きました。

会には、和歌山のお手玉の会、神戸お手玉の会、西宮お手玉の会、草津家の光おじやみグループ、大阪お手玉



新しい遊び・タオルを使ってのお手玉送り

の会、京・村人お手玉フレンドなど6支部、日ごろ和歌山支部が指導をしている栄谷保育所の園児、県立図書館お手玉教室のみなさんなど、90人が参加しました。

園児の童謡「まつぼっくり」を歌いながらのお手玉演舞、両手2個ゆり、片手2個ゆりで始まりました。片手2個ゆりを70回以上続ける園児がいて、参加者を驚かせました。

図書館お手玉教室のみなさんは、片手2個ゆり、両手3個ゆりなど、練習の成果を発表しました。

つづいて、神戸お手玉の会のみなさんが、「チューリップ」の演舞や、「ずいずいづつころばし」をヨーヨーお手玉で踊ったり、お手玉を使った新しい遊びを紹介しました。

最後は、親子連れも含め全員で、大きなお手玉を投げたり、ペットボトルで作った道具でのお手玉交換など、それぞれに楽しみました。

## 熊本支部

熊本おじやめの会

### 「子どもから大人へ」自立と共育を考える

「子どもから大人へ」自立と共育」を考える会が、令和元年9月29日(日)、ヘルスアートクリニックくまもとの中原和彦院長(日本のお手玉の会顧問)が代表理事を務める特定非営利活動法人「子どもの脳・心・生命(いのち)を守る会」が主催し、熊本おじやめの会の共催で熊本市で開催され、日本のお手玉の会も後援しました。

開会にあたり、中原先生は「いま子どもたちを取り巻く環境は、いじめ、引きこもり、うつ状態、自殺問題、不登校など、たいへん厳しいものになっている。このままでは子どもたちの脳は危ない。子どもたちの脳を守る活動」を、みなさんと一緒に考えたい」と、企画の趣旨を述べました。

そのあと、第一部で「ヘルスアートとは」の演題で、新町メンタルクリニックの中原敏博院長(和彦先生のご子息)が講演しました。

次に、熊本おじやめの会有志による「ヘルスアートお手玉」の披露、ヨーヨーお手玉ダンス

チームの「USA&くまもんサプライズ」がありました。

第二部は、シンポジウム「子どもから大人へ」自立と共育」のテーマでパネルディスカッションが行われました。

パネリストには、中原和彦先生はじめ幼児教育アドバイザー、学校教育コンシェルジュ、市PTA協議会会長などが参加し、県PTA教育振興財団理事長がコーディネーターを務め、意見交換が行われました。

参加者は、「子どもたちの問題は、みんな考えて考えなければいけない」「幼児教育が大切だと感じた」と話し、「それぞれの立場で、どう考え、何をしなければいけないのかを考えるよい機会になった」と感想を話していました。



にぎわった「USA&くまもんサプライズ」

## 八王子支部 八王子お手玉の会

### 子どもが作る『わたしのコモリウタ』に参加

八王子お手玉の会(鈴木幸子会長)は、平成31年3月22日、八王子市でDA/LEDA(タ・レダ)代表の鈴木久仁子氏(以下久仁子氏)らと、「子どもが作る『わたしのコモリウタ』と『パラレルワールドお手玉』世界にひとつだけのコモリウタ」という珍しい催しを開催しました。

これは、久仁子氏が、「お手玉」と「こもりうた」との共感性を強く感じられ、「子どもが作る『わたしのコモリウタ』の『パラレルワールド』(平衡世界)として『お手玉』ができないかと、



成果を喜ぶ八王子保育園の園児

声を掛けられました。「世界にひとつだけのコモリウタ」は、久仁子氏が2017年に川崎市で、世界で初めて実施した、わが子のために親御さんが、自分の言葉と自分の声で作る「わたしのこもりうた」のことで。

ある時お母さんが子守歌を作っていると、年長さんや小学生のお子さんが、「自分も作りたい」と言い出し、やってみるところ、歌ができたのです。

それは、「子守歌」ではなく、自分の好きなものを歌詞にちりばめた、「自分のための歌」でした。自分の心や魂を守る歌です。

その最大の課題である1対1の「採譜」という作業の間に生じる子どもたちの待ち時間を、楽しく過ごさせるのが八王子お手玉の会の役割です。お陰様で、歌あり、手遊びあり、パネルでの劇方式の分かりやすい説明があり、音楽の先生の手助けもあって、一人ひとりの「こもりうた」ができあがっていました。

## 長野支部 信州おしなごの会

### 下伊那農業高校の生徒さんにお手玉遊び指導

信州おしなごの会(篠田啓子会長)は、令和元年9月2日(月)、飯田市の下伊那農業高校アグリサービス科食農科学コースの2年生19人を対象に、

お手玉遊びを指導しました。

同校の食農科学コースは、「福祉施設での就業体験で、お年寄りとの交流のきっかけづくりをしたいので、おしなご(お手玉)遊びを指導して欲しい」と、おしなごの会に依頼がありました。

学校を訪れた会員らは、投げ玉遊びや寄せ玉遊びの基本を指導しました。生徒のみなさんは、簡単に見える仕草が、思い通りにできなくて、「難しい」といいながら、「ひとつくらいは習得して、お年寄りを喜ばせたい」と、一所懸命に取り組みました。篠田会長は、「お手玉は世界に誇れる遊び。若い人に教えるのは難しいが、今後もつづけていきたい」と話しています。

(写真は、「南信州新聞」から)



高校生のみなさんとお手玉回し

## 「はやぶさ2」でも「お手玉」が「こもりうた」の探査成功の陰に

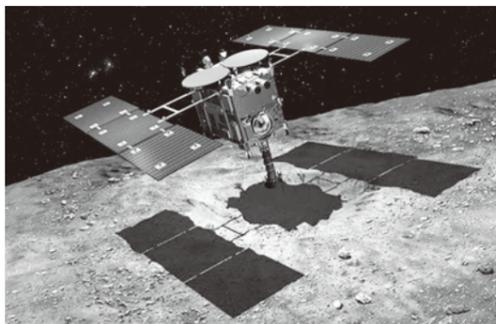


ターゲットマーカとお手玉

そのためには、小惑星の半径3mの領域に着地しなければなりません。これには、高い技術が必要です。

そこで登場するのが「落としても転がらない」というお手玉の性質です。それは、初代「はやぶさ」を成功させました。

この「お手玉の原理」は、「はやぶさ2」でも採用され、見事、着陸に成功しました。来年末の地球への帰還が待たれます。(写真は、JAXA(宇宙航空研究開発機構)のホームページから)



りゅうぐうに接近する「はやぶさ2」

日本の小惑星探査機「はやぶさ2」が、平成26年2月、地球から2億4,000万km離れた小惑星「りゅうぐう」に向けて打ち上げられ、30年6月、小惑星に到着しました。

「はやぶさ2」の任務は、「りゅうぐう」に到着して、小惑星の表面から幅広い科学的データを収集し、地球に持ち帰るという困難な任務です。

その任務の1つは、小惑星に到着したあと2機の探査ロボット「マスコット」を別々の地点に着地させ、小惑星の表面からデータを収集することです。

## 京都支部 京・村人お手玉フレンド

### 新春お手玉あそびイオン京都五条に参加

京・村人お手玉フレンド(田村節子会長)は、平成31年1月15日(火)、イオンモール京都五条で行われた「新春むかしあそび大会」に参加しました。大会は、2時間ずつ3回行われ、お手玉演舞、寄せ玉遊び、ヨーヨーお手玉ダンスのパフォーマンスを披露した後、家族連れのお客様と一緒に、お手玉遊びを体験していただきました。

人芸を披露しました。

つづいて、参加者全員は、3つのグループに分かれて、楽しいお手玉遊びを遊びを体験しました。

①両手2個ゆりの基本、②「ヨーヨーお手玉」を両手でつかむ、たたく、などのタイミングの体験、③「お隣へポイツ」で、ペアで輪になり、手ぬぐいに4個のお手玉を乗せて、ポンポン弾ませて隣へ送る遊びなどを、体験しました。

最後は、大きな布にたくさんのお手玉を乗せ、みんな布を弾ませお手玉を高く上げる「お手玉の花を咲かせましょう」の遊びを楽しみました。

楽しい交流の機会を与えていただいたことに感謝しています。(記事担当：平山圓、森山桂子、明神倫子)



参加者全員で『お隣へポイツ』

## 福岡支部 福岡お手玉の会

### 山口市のお手玉講習会に招かれ福岡から参加

福岡お手玉の会(原妙子会長)は、令和元年12月、山口市で行われた、お手玉遊びの講習会に参加しました。これは、同市のお手玉グループ・むかしなつかしお手玉会(中村信子会長)の招きに応えたものです。講習会には、約100人が参加しました。

まず、地元の若いスタッフが「手のひらを太陽に」のお手玉演舞を演じ、福岡のメンバーは、みんな「サザエさん」の演舞と、松本弘子師範代の名



イオンモール京都五条でのお手玉披露

参加されたお客様は、お子様の楽しい姿をカメラに収めたり、昔を思い出しながら楽しめる方など、笑顔がいつぱいの一日でした。

お客様は、「お手玉はむずかしいものと思っていました、体験してみても楽しかったです」と話していました。

主催者も、「これほど盛り上がることは予想していなかった」と喜んでくださいました。

このたびの行事に参加して、以前、日本のお手玉の会でロサンゼルスイベントに出演したときのことを思い出しました。

(文：田村節子世話役)

## 尾道支部 尾道お手玉フレンド

### 第15回尾道お手玉遊び 大会に120人が参加

尾道お手玉フレンド(山根三重会長)は、平成31年2月9日(土)、市総合福祉センターで、第15回お手玉遊び尾道大会を開き120人が参加しました。

団体戦は一般の部に25チーム、小学生の部に5チーム、個人戦は一般と小学生(高学年、低学年)合わせて



仮装や色とりどりのユニホームで参加してはなやかに

7種目で、熱戦を展開しました。節目の大会ということで、15回出場した芝田ミエコさん(93歳)が表彰されました。また、団体戦では芝田さんのお孫さんも参加したチームGが優勝を飾りました。

大会では、昨年から取り入れた仮装や、そろいのユニホームなどの参加を奨励したりしていました。

今年も、高齢者からかわいなお子さんまで、それぞれに趣向を凝らした、色とりどりの衣装やユニホーム姿で参加し、大会に花を添えました。

舞台では、会員による「年下の男子〜♪」のお手玉演舞の披露があり、参加者から大きな拍手をもらいました。

### 新居浜支部 新居浜高専と新居浜支部

#### 新居浜で今年も夏休みに お手玉教室開く

新居浜市では、今年も夏休みに放課後児童クラブを対象にした「お手玉教室」を、6小学校と2児童センターの12児童クラブで行い、582人が受講しました。講師は、新居浜高専奇術部支部と新居浜支部が担当しました。

教室では、お手玉は4千年の歴史があり、遊び方は現在まで、変わることなく世界各国で継承されていることを話しました。これには、みなさん驚きの表情で聞き入っていました。

そのお手玉遊びが、いま脳科学者の間で脳の活性化に役立つことが証明され、医学、教育、福祉など幅広い分野で注目されていると伝えました。また、2個で行うお手玉遊びで脳の働きを高め、成績がよくなり、忘れ物が少なくなり、姿勢もよくなるという話に、目を輝かせていました。

2個のお手玉での「お手玉体操」の体験では、真剣な表情ながらも、随所に笑顔を浮かべ、汗を流しながら取り組みました。

あるクラブでは、お札にとみなさんで「パプリカ」を踊ってくれました。



お札に「パプリカ」を踊る小学生

### 日本のお手玉の会本部

#### 銀行で「お手玉遊び」 の活動展を開催する

日本のお手玉の会の本部がある愛媛県新居浜市の伊予銀行登道支店で、お手玉遊びの活動展を、令和元年7月22日(月)から8月30日(金)まで、開催させていただきます。

この銀行は、本部とは同じ町内に立地している関係から、ご厚意で開催していただきました。今回は2回目です。

このたびの展示は、お手玉遊びについて、歴史、効用、伝承、大会、教育、宇宙など6つの分野について、A3版のカラー写真のパネルを中心に掲示し、書籍やお手玉なども展示しました。

歴史…4千年前の古代エジプト文明時代の壁画、江戸時代の版画。

効用…前頭前野を刺激し、認知症の予防。

伝承…お手玉遊びとして継承、大会の様子、出版物の展示。

宇宙…「はやぶさ2」と、お手玉にヒントを得たターゲットマーカーなどの写真を展示。

これらの展示は、銀行を訪れた市民のみなさんに、興味深く眺めていただき、また、手に取って感じていただくことができました。



銀行で日本のお手玉の会の活動展

### 「日本のお手玉の会ホームページ」の企画紹介

## 特別 寄稿 お手玉は脳にとって 良いのか否か!?

脳科学者 森 昭雄 顧問

### お手玉と前頭前野 〜好評連載中〜

日本のお手玉の会のホームページで、平成31年1月から、脳科学者の森昭雄先生(日本のお手玉の会顧問)の『お手玉と前頭前野〜お手玉は脳にとって良いのか否か?』を月1回の頻度で掲載しています。

この『特別寄稿』に、会員のみならずをはじめ広く各方面から、関心をお寄せいただいています。

ここに、この1年間のタイトルをご紹介します。もう一度、ホームページをご覧になってみてください。



哺乳類の前頭前野

第1回…はじめに〜お手玉と脳の働き

第2回…前頭前野からの入力

第3回…前頭前野からの出力

第4回…前頭前野と学習

第5回…脳にとって良い食べ物

第6回…脳を悪化させる食べ物

第7回…お手玉はなぜ前頭前野に良いのか

第8回…認知症の予防対策としてのお手玉

第9回…脳のネットワークと知恵

第10回…人間だから「生涯努力」で

第11回…脳と環境への影響は幼少

第12回…「美と脳」「赤の部屋」と

「緑の部屋」



森昭雄先生

### 北村義雄ヤップ通信

日本のお手玉の会 北村義雄副会長

日本のお手玉の会の北村義雄副会長が、JICA(国際協力機構)のシニア海外ボランティアの一員として、平成30年3月から2年間、ミクロネシアに向いて活動しています。

その業務の内容や、現地ヤップ島の興味深い伝統行事、歴史、文化、現地の方々との交流などを、『北村義雄ヤップ通信』として、日本のお手玉の会のホームページ「たまちゃん通信」で紹介しています。お楽しみください。

(写真は現地の家庭料理)



お手玉の歴史から効用まで

# 写真絵本「お手玉」が

## 令和2年1月25刷りに

### 「お手玉の人気を反映」

写真絵本『お手玉』は、監修・日本の  
お手玉の会、文・大西伝一郎先生（児  
童文学作家・日本のお手玉の会新居  
浜支部顧問）、発行所・文溪堂で、平成  
4年9月に発行されました。

その『お手玉』が、令和2年1月に  
25刷り目が発行されます。これは、出  
版社のご努力はもとより、会員のみな  
さんをはじめ、多くのお手玉ファン  
のご支援のおかげです。

発行当初から厚生省中央児童福  
祉審議会の推薦、第13回愛媛出版文  
化賞など、多方面からの推薦や、賞を  
いただきました。

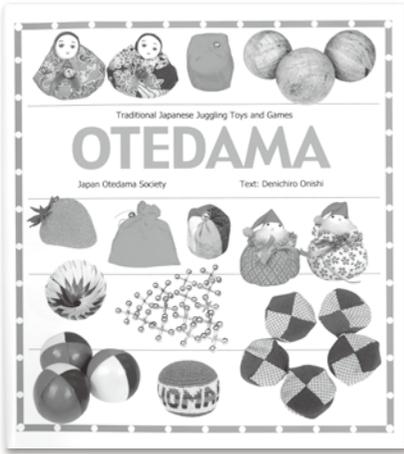
その後、お手玉が教育、医療、福祉  
など幅広い分野から注目されるよう

になり、『お手玉』は、増刷を繰り返して  
きました。

ある女子大学では伝統文化の授業  
で『お手玉』をテキストとして使用し  
ていただきました。

平成27年2月、小学3年生の国語  
の教科書（光村図書）に、「この本読もう  
う」と『お手玉』が紹介されました。こ  
のことも増刷の要因になりました。

また、1997年には、ロサンゼルス  
の出版社（HEIAN）から英語版  
『OTEDAMA』が出版されています。  
もう一度、『お手玉』を開いて、ご覧  
になってみてください。  
（写真上…25刷り目の『お手玉』、下…英  
語版）



## 2社がお手玉の本を出版

### 「金の星社と小峰書店が」

令和元年初頭に、『お手  
玉』の本が二つの出版社か  
ら、相次いで出版されまし  
た。

金の星社は、編集を  
WILSHI（ウィルシ）こども知育研究  
所が担当し、小学生中学年  
を対象に、「むかしからつた  
わる遊び『お手玉』を楽し  
む（2,800円＋税）」を  
3月に出版しました。

小峰書店は、監修・神谷  
明宏、企画・編集を小峰書  
店とオフィス303が担当  
し、小学生低学年を対象  
に、「できる！たのしむ！む  
かしのあそび『お手玉』（2,  
300円＋税）」を出版し



できる！たのしむ！むかしのあそび『お手玉』  
小峰書店・出版  
神谷明宏・監修

ました。

これら2冊は、全国の小  
学校の図書館向けに配本さ  
れ、書店には出ていません。  
この出版にあたって、昨年  
末、編集を担当したそれぞ  
れの会社から、日本のお手  
玉の会に、協力依頼があり  
ました。

日本のお手玉の会は、こ  
れを了承し、歴史や効用、  
遊び方の紹介などの情報提  
供や、世界と日本のお手玉  
の写真の提供、全国のお手  
玉の活動グループの紹介な  
どに、全面的に協力しまし  
た。



むかしからつたわる遊び『お手玉』を楽しむ  
金の星社・出版  
WILSHI（ウィルシ）こども知育研究所・編著



【発行・編集】

## 日本のお手玉の会

〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号 銅夢にいはま内

TEL : 0897-32-0302 FAX : 0897-32-0311

URL: <http://www.otedama.jp>

E-mail: [honbu@otedama.jp](mailto:honbu@otedama.jp)